

2019年5月21日

2019年3月期 期末決算説明会 質疑応答（要旨）

（Q1）なぜ、新中計の2年目のタイミングで一部設備（電気炉のトランス）の修繕を行うと考えたのか。

（A1）トランスの寿命はまだ残っているが、突発的トラブルを避けるため、出来るだけ早めに行う計画を立てた。様々な要因を勘案して2年目に計画した。

（Q2）『新興国の新規プロジェクト参入』という文言が資料にあるが、どういったものを想定しているのか。

（A2）当社がさらなる成長を目指すためには、ニッケル資源の安定調達とともに、コスト面からも海外製錬を展開していく必要があると考えている。投資はその準備に向けたいと思っている。

（Q3）安価なインドネシア産フェロニッケル・NPI（ニッケル銑鉄）や、中国産NPIの生産が中長期的に進むことにより、グローバルでのステンレス供給のサプライチェーンが大きく変わっていく可能性がある。中長期的に見て、当社のフェロニッケル事業（販売）に対してどのような影響を与えるのか。

（A3）中国資本によるインドネシアでの現地生産は大きなインパクトと考えており、今のところは少ないものの各国に影響が出始めている。当社の事業への影響は不透明だが、それほど大きくないものと考えている。世界におけるステンレスのサプライチェーンの変化については注視している。

また、インドネシアでは、ここ数年でステンレス生産プラントが相当規模立ち上がっており、中国向けを中心に、韓国・台湾に安い価格で相当量流入している。特に台湾への影響が大きい。台湾におけるフェロニッケルの需要が少し減退している分は、韓国等、他地域への輸出を増やすことで進めている。

以 上